

渡波地区 復興事業説明会 議事録（摘録）

日 時：2011/12/9 14:00～15:00

（全体の質疑を早めに終了し、個別相談窓口で対応）

対象町名：松原町、長浜町、幸町

総参加者数：291名（参加地権者数：203名／252名）

1 開会

2 挨拶：基盤整備課長

3 説明事項（35分程度）

◇地区の復興計画について

◇海岸防潮堤の計画について

4 意見交換（25分程度）

- ・ 県で整備する防潮堤が今次津波から守るようにしないのはなぜか。
⇒ 県で整備する防潮堤は、数十年から百数十年に起こりうる津波を守る防潮堤として宮城県全体で整備する。それを超える今次津波に対する防御は、まちづくりの中で整備することになっている。
- ・ 渡波地区は海拔0m未満の土地か。
⇒ 今現在測量できない。詳細は国土地理院の基準点が公表されてからわかります。
- ・ 計画堤防のすぐ内側に住んでいる人のことを考えているのか。
⇒ 県で防潮堤を今の高さより約2m高くする。その後ろに今回の津波を守る防潮堤をまちづくりの中で整備する。松原町から長浜町の方には、渡波の新しい団地に移転していただきたいというお願いです。
- ・ 長浜町側の防潮堤高7.2m、万石浦側の防潮堤高2.6mの部分。7.2mで津波を止めても2.6mの堤防高で守れるのか。2線堤の考え方、高さや線形の検討の余地はあるのではないか。
⇒ 宮城県は万石浦側の堤防を2.6mで作るので、今回の規模の津波を後ろの堤防で守るという考えです。
- ・ 2.6mの防潮堤の考えは変更しないのか。
⇒ 数十年から百数十年に起こりうる津波を守る防潮堤として、万石浦全体の堤防を

2.6mで整備する。

- ・土地の買取価格の提示時期はいつになるのか。
⇒国からの方針が、まだ明確には伝わっていない。
- ・2線堤を整備するために、被災市街地復興推進地域以外も買取対象となりうるのか移転対象か。
⇒被災市街地復興推進地域のエリア内で計画している。
- ・仮設住宅の期間延長について、民間借り上げ住宅についても対応してほしい。
⇒民間借り上げ住宅についても、期間延長を要望している。
- ・計画の防潮堤で町を守れるのか。二線堤までの距離は何mか。
⇒今回と同じ津波を止める高さと位置を検討した結果、今回の案となった。
- ・大雑把な図面でなく、詳細な拡大図で説明してほしい。
- ・口だけでなく必ず実行してもらいたい。
- ・代替地の計画はどこまで決まっているのか。
⇒現在、地権者と交渉中。鹿妻から渡波に抜けるイオン通りの水田を予定。
- ・移転先の割り振り方はどうするのか。
⇒移転先の造成が終わり、区画が確定してから相談したい。
- ・国県市の対応が遅いのですすでに土地を購入したりした人たちへの対応はどうするのか。
⇒一人ずつ個別に相談して対応したい。
- ・3次補正の内容はいつ公表されるのか。
⇒国からの指示があるまで待つてほしい。
- ・土地の買取価格は決まっているのか。
⇒被災前の価格で買い取れるように国に要望している。

全体の意見交換後、個別の相談会を実施。

以上